

狛江市長

高 橋 都 彦 様

狛江市市民参加と市民協働に関する審議会答申
(市民協働事業提案制度【市民提案型】・平成 29 年度提案事業)

平成 29 年 4 月 27 日付け狛企政発第 000021 号にて狛江市長より諮問のあった「市民参加の手続きの方法及び市民協働事業の提案に関する事項」について、当審議会において検討を重ねた結果、別紙のとおり答申としてまとめましたので、報告いたします。

平成 29 年 9 月 13 日

狛江市市民参加と市民協働に関する審議会委員

会 長	奥村 隆一
副会長	内海 貴美
委 員	大塚 隆人
委 員	藤川 隆司
委 員	関 幸一
委 員	島本 和彦
委 員	松崎 学
委 員	小川 憲一郎
委 員	松本 和美
委 員	平 美和
委 員	愛甲 悦子
委 員	宍戸 泉
委 員	長谷川 好道
委 員	西家 將善
委 員	石田 琢智

平成 29 年度市民協働事業提案制度（市民提案型）の提案事業について

1. 平成 29 年度市民提案型市民協働事業

■応募件数・・・2 件

事業名	応募団体名	担当部署名
朝食付きラジオ体操	NPO 法人狛江子ども食堂	子育て支援課
未就学児のための和太鼓体験ワークショップ事業	テラコヤ 3	児童青少年課

※NPO 法人バリアフリーセンター福祉ネットナナの家の応募については、提案申請辞退の申し出があり受理した。

2. 公開プレゼンテーション及び審査会

■実施状況

日時：平成 29 年 7 月 29 日（土） 12 時 30 分～

会場：防災センター 4 階会議室

担当：狛江市市民参加と市民協働に関する審議会委員（4 名）

3. 審査結果

■別紙・審査表のとおり

4. その他

市民協働事業提案制度における「市民提案型市民協働事業」は、平成 24 年度から平成 26 年度まで提案件数が 0 件である。平成 27 年度には 1 件の採択があったものの、平成 28 年度は採択 0 件となっており、課題が見受けられる。

今後は、市民協働のあり方や市民提案型市民協働事業の意義について改めて見直し等を行い、より市民活動の促進へと繋がるよう、制度の活用も含めて取組みを推進していくことを期待する。

市民協働提案事業 審査表

提案団体名	NPO法人狛江子ども食堂
提案事業名	朝食付きラジオ体操

①公益性：提案事業は、地域社会の発展又は地域課題の解決に寄与するものであるか。

1. 大変寄与する（4点）	2. 寄与する（3点）	3. どちらともいえない（2点）	4. あまり寄与しない（1点）	5. 全く寄与しない（0点）
＜特記事項＞ ■地域の寄付は認められる。協力を得られるかはとても難しい。 ■食事をとれない子どもたちに朝食を提供することは、大変意義のあることだと感じる。 ■貧困の子どもへのアプローチが必要と考える。目的のとおり実現できれば、大変素晴らしい事業であると思う。 ■地域の連体制				
A	B	C	D	
3		3	4	3

②協働性：団体・市とともに協働事業に前向きであり、協働による効果が期待できるか。

1. 大変期待できる（4点）	2. 期待できる（3点）	3. どちらともいえない（2点）	4. あまり期待できない（1点）	5. 全く期待できない（0点）
＜特記事項＞ ■学校機関を利用するには市の協働は大と思う。 ■今回の事業だけではないが、市が協力することにより事業はひろがりを持つと思う。 ■市の参加により宣伝効果、公共性が増す。				
A	B	C	D	
1		3	3	3

③具体性：事業内容や実施方法に具体性があり、市と団体の役割分担が適正か。

1. 大変適正である（4点）	2. 適正である（3点）	3. どちらともいえない（2点）	4. あまり適正でない（1点）	5. 全く適正でない（0点）
＜特記事項＞ ■活動の拡大に市より働きかけが必要とされるが、活動時間が厳しい。 ■町内会と協力することがベストなのが疑問。PTAやおやじの会など、保護者組織と連携していくことで、参加者の呼びかけや準備等がやりやすくなるのではないかと。 ■全体的な役割分担を検討するべきと思う。 ■少し具体性に欠ける。				
A	B	C	D	
1		1	2	2

④実現性：事業計画と収支予算は整合しており、事業に実現性があるか。

1. 大変実現性がある（4点）	2. 実現性がある（3点）	3. どちらともいえない（2点）	4. あまり実現性がない（1点）	5. 全く実現性がない（0点）
＜特記事項＞ ■予算がないため実現性はあるが、拡大には課題が残る。 ■現在の日枝神社以外で行う際の課題が多々あり、検討が必要である。（人員、食材、調理場所、告知方法、保険等） ■全てボランティアで考えていることはすばらしい。				
A	B	C	D	
2		2	4	2

⑤実施能力：提案団体は、提案事業を実施する能力を持つか。

1. 大いに持つ（4点）	2. 持つ（3点）	3. どちらともいえない（2点）	4. あまり持たない（1点）	5. 全く持たない（0点）
＜特記事項＞ ■すでに活動しており、能力は充分にあると思う。 ■今持っているノウハウを、どのように広げていき、他地域で実施していくかに期待したい。 ■既に活動をしているNPO法人であり、能力は十分にあると思う。				
A	B	C	D	
4		3	4	2

評価点計（20点満点／個人）11点12点17点12点

【審査結果】
本事業については、提案の趣旨には賛同するが、食事提供に際しての衛生面や実施にあたっての協力者・場所・食材の確保など、運営方法に課題がある。
こうした課題を鑑みれば、現状実施されている場所において、他団体との連携等による規模拡大を検討されるべきと考える。

評価点合計（80点満点／全体）

52点

市民協働提案事業 審査表

提案団体名	テラコヤ3
提案事業名	未就学児のための和太鼓体験ワークショップ事業

①公益性：提案事業は、地域社会の発展又は地域課題の解決に寄与するものであるか。

＜特記事項＞ ■地域社会よりは子どもの成長に寄与するだろう。 ■子どもたちに音楽の魅力を伝えたいという思いがよく伝わってきた。 ■市内の未就学児へ事業が広がれば、音楽のまち柏江につながる一歩でもあると思う。 ■地域の子供の音楽教育にプラスになる。	1. 大変寄与する（4点）	2. 寄与する（3点）	3. どちらともいえない（2点）	4. あまり寄与しない（1点）	5. 全く寄与しない（0点）	A	B	C	D
	《点数》								
		2		3	4	3			

②協働性：団体・市とともに協働事業に前向きであり、協働による効果が期待できるか。

＜特記事項＞ ■園の組織を知っている市の協働を得て、不公平にならないよう全園に話がわたり、結果は園が判断できる。 ■一団体のみの働きでは事業が拡大できないと考える。是非市役所にも積極的に協働いただきたい。 ■市の参加により、宣伝効果・公共性が増す。保育園へのアプローチがしやすくなる。	1. 大変期待できる（4点）	2. 期待できる（3点）	3. どちらともいえない（2点）	4. あまり期待できない（1点）	5. 全く期待できない（0点）	A	B	C	D
	《点数》								
		3		3	4	3			

③具体性：事業内容や実施方法に具体性があり、市と団体の役割分担が適正か。

＜特記事項＞ ■講師も普段から接触しやすい位置にあり、1時間という活動時間のタイムスケジュールが考えられている。 ■市の役割が若干不明確な点がある。園とのスケジュール調整は団体側で行う方がよい。 ■役割分担については、予算を含め検討が必要と考える。 ■テラコヤ3は長年活動の実績があり、太鼓・笛の演奏者を確保でき、スケジュール調整が可能である。	1. 大変適正である（4点）	2. 適正である（3点）	3. どちらともいえない（2点）	4. あまり適正でない（1点）	5. 全く適正でない（0点）	A	B	C	D
	《点数》								
		3		2	2	3			

④実現性：事業計画と収支予算は整合しており、事業に実現性があるか。

＜特記事項＞ ■予算は充分精査できる部分があるので再確認。 ■再来年度以降、予算をどう確保していくか検討すべき。 ■予算の精査は必要だが、妥当性はある。 ■予算に若干の見直しが必要である。	1. 大変実現性がある（4点）	2. 実現性がある（3点）	3. どちらともいえない（2点）	4. あまり実現性がない（1点）	5. 全く実現性がない（0点）	A	B	C	D
	《点数》								
		1		3	3	3			

⑤実施能力：提案団体は、提案事業を実施する能力を持つか。

＜特記事項＞ ■講師2名の方は素晴らしいものを持っているので、年間のスケジュールを適正に管理し、できるだけ多くの子どもたちに体験してもらいたい。 ■既に活動の実績があり、能力は十分と思う。	1. 大いに持つ（4点）	2. 持つ（3点）	3. どちらともいえない（2点）	4. あまり持たない（1点）	5. 全く持たない（0点）	A	B	C	D
	《点数》								
		4		3	4	3			

評価点計（20点満点/個人）

13点14点17点15点

【審査結果】
本事業については、提案の趣旨には賛同するが、予算や人材確保の点において事業の継続性に課題があるため、解消する必要がある。また、より効果的な予算計上や、保育園以外の場所での開催にするなど、より効果的で実現性のある実施方法が検討できると考えられる。

評価点合計（80点満点/全体）

59点

市民協働提案事業 審査表

★特記事項

★指摘すること・注意点・課題等

【狛江子ども食堂】

- フードバンクの食材をどこまで受け入れられるのか。
- 町会よりもPTAを上手に取り込む方が情報収集もでき、1日、2日の活動であれば協力体制もできるのではないかと。 (単なるイベントにとらえられないようにしないといけない)
- お腹一杯食べられない子に伝わる工夫が必要。
- 調理場所の確保が課題である。(ラジオ体操会場の周辺でどうやって探すのか)
- 食材の確保は、量が増えていった時にどうするのか。(ボランティア、無償提供だけで継続的にまかなっていきけるのか)
- 地域の連体制を作っていくには、朝も早く保護者及び地域の協力が得にくい。今のままの希薄な地域社会を改善したいという気持ちは伝わってくる。何か皆で考えたい。

【テラコヤ3】

- 講師の確保が課題である。(3人目以降をどう繋いでいくか)
- 園の選定方法をどのようにするのか。不公平感をどうなくすのか。(全ての保育園、幼稚園を1年でまわることはおそらく不可能)
- 近隣住民への音対策が課題である。